

大学コンソーシアムやまがた総会（平成27年度第1回） 議事録

日 時	平成27年6月25日（木）15:30～16:30		
場 所	ゆうキャンパス・ステーション		
出席者	羽陽学園短期大学	: 研 攻一	学長（代理：佐藤 利男 事務局長）
	鶴岡工業高等専門学校	: 加藤 靖	校長
	東北文教大学・東北文教大学短期大学部	: 鬼武 一夫	副会長・学長
	東北文教大学・東北文教大学短期大学部	: 大川 健嗣	幹事会副委員長／副学長 （代理：加藤 隼人 講師）
	放送大学山形学習センター	: 櫻井 敬久	所長
	山形県立産業技術短期大学校	: 横山 正明	校長
	山形県立農業大学校	: 大江 栄悦	校長
	山形県立保健医療大学	: 青柳 優	副会長／学長
	山形県立米沢栄養大学・山形県立米沢女子短期大学	: 鈴木 道子	監事／学長 （代理：井上 元治 幹事会副委員長／事務局長）
	山形工科短期大学校	: 勝見 英一朗	校長
	山形大学	: 小山 清人	会長／学長
		: 栗山 恭直	企画会議委員長／教授
	欠席者 東北芸術工科大学	: 根岸吉太郎	副会長／学長
		: 遠藤 節子	幹事会副委員長／事務局次長
	東北公益文科大学	: 吉村 昇	副会長／学長
	山形県立保健医療大学	: 川崎 正則	幹事会副委員長／理事・事務局長
	山形県	: 清田 浩史	監事／総務部長
	山形大学	: 安田 弘法	幹事会委員長／理事・副学長
報告事項説明者			
	山形大学	: 横井 博	山形人材育成委員会・企画運営部会長 ／山形大学教授
陪席者	山形県	: 板垣 順子	総務部学事文書課主事
	山形大学	: 成田 博昭	教育・学生支援部長
	山形大学	: 武田 仁志	教育学生支援部学務課長

I 開会

会議に先立ち、事務局から、総会新メンバー 櫻井 敬久 放送大学山形学習センター所長の紹介、会議成立の報告及び報告事項1に関連して山形大学 横井 博教授が説明者として出席している旨の紹介があった。

次いで、会長から、本会議の議事録署名人として、鶴岡工業高等専門学校 加藤校長と山形工科短期大学 勝見校長の二人に依頼があった。

II 議事

[報告事項]

1 山形人材育成委員会の平成26年度活動報告について

山形大学 横井教授から、資料1の平成26年度人材育成委員会事業報告書に基づき、報告があった。

引続き、横井教授から資料2に基づき、文部科学省補助金事業「大学間連携共同教育推進事業」として山形大学が中心となって行っている「美しい山形を活用した『社会人力育成山形講座』の展開」について、4月13日に行われた中間報告について説明・報告があった。

2 平成26年度事業報告について

事務局から資料3に基づき、平成26年度大学コンソーシアムやまがた事業報告があった。

[協議事項]

1 平成26年度収支決算（案）について

2 監査報告について

事務局から資料4に基づき、平成26年度収支決算（案）の提案と監事2名が欠席のため事務局から資料5に基づく監査報告があり、諮られた結果、了承された。

3 平成27年度事業計画（案）について

4 平成27年度収支予算（案）について

事務局から資料6の平成27年度大学コンソーシアムやまがた事業計画書（案）及び資料7の平成27年度大学コンソーシアムやまがた収支予算（案）について、説明と提案があり、以下の意見交換がなされた。

(主な意見交換内容)

Q：支出予算の連携事業に今年度602,620円計上されているが、前年度決算額が20万円弱と60万円の予算に対して3分の1しか使われていないのはなぜか。

A：昨年後期に単位互換履修学生交通費として特別に山形大学と保健医療大学から51万円の追加予算をいただいたが、10万円程度の支出しかなかったためである。単位互換履修学生の交通費としていただいているので、残額を同じ事項でそのまま繰り越して今年度の予算としている。なお、今年度は前期で5名の学生に支出予定である。（事務局）

以上の質疑応答が行われた結果、平成27年度事業計画(案)及び平成27年度収支予算(案)について了承された。

[その他]

1 ゆうキャンパス・ステーションについて

事務局から、幹事会の議題としてこの「ゆうキャンパス・ステーション」は平成22年2月の共同宣言のもと、同年3月31日の臨時総会において駅前にオープンすることが了承され現在に至っている。オープンして5年を経過していることから、「ゆうキャンパス・ステーション」の今後の在り方について、幹事会で検討してはという話があった。この場所で良いか。また、経費の在り方を考え直さなくともよいのかといったことをアンケートによる意見聴取を行い、その結果を踏まえて総会で検討願う方向で考えている。さらに、来年4月以降のゆうキャンパス・ステーション貸借契約更新の有無について、ビルオーナーへ9月末までに示さなければならないため、今後のスケジュールは、7月中に幹事会によるアンケート調査と取りまとめ、8月中に幹事会開催と会長への報告、9月に総会開催を考えている旨の説明があった。

また、会長から、6年前までは「大学コンソーシアムやまがた」の事務所は山形大学の中にあったが、「大学コンソーシアムやまがた」は山形大学のためにあるのではないかと誤解を山形大学自身も生じかねないとのことから外へ設置してはどうかということになり、駅が近い、外から入りやすいという2点でこの場所に決めた経緯や、最初高かった家賃をオーナーと交渉して下げてもらったこと、および幹事会でゆうキャンパス・ステーションの今後の方向性を出してもらうことになる旨の補足説明があった。

(意見・質疑応答)

Q：必要性を考えるに当たっては、利用状況などのデータがないと判断が難しいのではないか。

A：事務局から幹事会アンケートの際に出してもらいたい。(会長)

Q：利用状況はもちろんであるが、この場所をどのように使っていくか。駅前にあるのもっと開放していく、新たな事業を展開していくなどいろいろな方法があると思われるが、そこまで進んでいないと感じられるのでもう少し検討すべきと思われる。

A：以前は事務局員も4人、6人いた時期があり予算もあったので、ゆうキャンパス・ステーション祭りなどいろいろなイベントも多く開催できたが、現在、事務局員は2人でかつ大学コンソーシアム経費での雇用はパートの一人のみであることから、なかなか思うようにできていないのが現状である。(事務局)

Q：アンケートをやることについては幹事会で決まったことなのか。また、この場所はロケーションとして良いところだと思うが、最初にここを選んだ理由やほかに候補地があったのかなどを聞かせてほしい。

A：アンケートについて、資料8の裏面に「ゆうキャンパス・ステーション」の運営費の経緯を載せているが、ここの家賃は山形大学からの負担金で、光熱水料を他大学からの負担金で支払っている。この運営費の負担額の在り方や山形駅前にあることについて山形市以外にある会員の方はどのような考えをお持ちなのかなど、総合的に見直す時期ではないかとの考えから、まずはアンケートを実施し、率直な意見をお聞きして検討することとしたもの。(事務局)

A：ここを選んだ理由について、平成21年の頃に「大学コンソーシアムやまがた」の幹事を

やっいて、事務室が山形大学にあるのは皆が入りにくいしおかしいのではないかという意見があり、外へ出ようと考えた。その時に候補地としてこの場所とホテルキャッスルの東側角に2階建の建物、もう一つが第一小学校にあった。皆さんが集まるのであれば駅の近くで、また人通りが多いことからコンソーシアムの名前も知ってもらえること、催し物は夜が多いだろうから通った時にすぐに入れるような場所ということで、ここを見た瞬間に決めようと思った。ただ、不便なところは駐車場がないことである。また、オーナーも非常に理解があった。

ここに来て5年を経過したので、少し振り返ってみて、別の場所に変えることも案としてあってよいと思っている。(会長)

○：コンソーシアムは各県にあるが、地域の学習する場の一つとして考えた場合にはここだとしてできない。コンソーシアムの中に図書館があり、高校生がいつもいて、大学生がディスカッションできる場所があればもっと集まってくれると考えている。そうした場合にここから後5年間でどのように運営していくのか、どのように地域とかかわっていくのかということも併せて検討する必要がある。

○：幹事会でも是非そのようなことを検討願いたい。今のご意見のコンソーシアムのイメージは京都のことと思われるが、駅の近くにここくらいのビル一つを付けていろいろやっいてる。大学が集中して、各大学が応分の負担をしていてメリット等のバランスがきちっととれていると思われる。しかし、京都以外の地方はバラバラで距離があるため、出資してもペイできるというバランスが取れず、多分ボランティアで出しているものと思われる。どの地方も、地方を元気にするためにという使命で行っているの、皆の協力なしにはできない。(会長)

○：どうしてもお金のかかる話になるので、今我々が負担している負担金を含めて、この範囲で最も便利の良い場所を求めるということになる。考え方が二つあって、駅に近い場所だが駐車場がないし、もう一つは駅から離れるが駐車場は十分確保できるといったもの。もし、高校生を視野にいれるのであればここが良いし、何をターゲットにするのかが大きい要素となってくるのではないか。それと大学の資源を市民等に開放する場所であることが一つと、高校生には是非我々高等教育機関に入ってきてほしいという役割とがある。そのことを考えるとこの場所は非常に良い場所と考える。

最後に会長から、本日の宿題として幹事会でいくつか議論する話をもらったこと、また、知事や新しくなる市長に対して要望書を出すことを検討する旨の話があり閉会した。

以上

【配 付 資 料】

資料 No. なし

- ・役員名簿
- ・大学コンソーシアムやまがた会則
- ・平成26年度大学コンソーシアムやまがた総会議事録（平成27年3月24日）

- 資料1 平成26年度山形人材育成委員会事業報告書
(添付: 2015 社会人力育成山形講座パンフレット)
- 資料2 「大学間連携共同教育推進事業」中間評価について
- 資料3 平成26年度大学コンソーシアムやまがた事業報告書
- 資料4 平成26年度大学コンソーシアムやまがた収支決算書(案)
- 資料5 監事監査に関する資料(5月29日: 監事監査)
- 資料6 平成27年度大学コンソーシアムやまがた事業計画書(案)
- 資料7 平成27年度大学コンソーシアムやまがた収支予算書(案)
- 資料8 ゆうキャンパス・ステーション設置経緯及び負担金
- ・
- 参考資料1 平成27年度「高等教育山形宣言プロジェクト」事業募集
- 参考資料2 やまがた夜話(5月)『山形ゆかりの人びと ー近代編1ー』
- 参考資料3 やまがた夜話(6月)『山形の森の力』
- 参考資料4 やまがた夜話(7月)『草木塔(Ⅲ) ー草木塔と日本人の心ー』
- 参考資料5 第4回「日本一さくらんぼ祭り」学生パフォーマンス出演
- (冊子) 平成26年度報告書/美しい山形を活用した「社会人力育成山形講座」の展開

議事録署名人

山形大学長

山形清人



鶴岡工業高等専門学校長

加藤 靖



山形工科短期大学校長

藤見 英一朗

